



ハマダイコン

野生化したダイコン。根っちは食べられる。  
8月から花が咲き始め、4月が見ごろ。



オカヒジキ

浜に近いところに生えている。葉っぱが多肉で厚く、若い葉はやわらかく、ゆでて食べられる。しだいに硬くなり、先端がトゲのようになる。



ケカモノハシ

穂が二つに分かれているのが、カモのくちばしのように見えるのが、名前の由来。  
見ごろは7月～8月。



ハマエンドウ

長く地下茎を伸ばして繁殖する。普通のエンドウとの違いは、葉っぱ全体が白っぽく、花や実が大きいこと。  
花の見ごろは、4月～5月はじめ。



ハマボウフウ

5月に白い花が咲き、実は、夏にかけて薄い黄緑色から赤紫色に変わる。葉は、厚みがあり、光っている。若い芽を刺身の“つま”に使う。  
キアゲハの幼虫も食べる。



ツルナ

黄色い花が咲くが、小さく目立たない。葉っぱが多肉で、食用になることからツル菜と呼ばれる。葉全体が白い粉におおわれているように見える。



マルバアカザ

葉は厚ぼったく丸い。5月半ばから芽生え、夏、枝の先に緑色をした小さくフチフチした花をつける。  
9月ごろには、赤紫色に色づく。



ハマゴウ

砂浜をはいまわるように生えている低木。夏の海岸に広がる。花の見ごろは7月～8月。



ホンズバハマアカザ

夏の海岸でよく見られる。葉の先が鋭く尖る。秋に枝の先に穂を出し、たくさん淡い緑色の花をつける。



テリハノイバラ

ノイバラに似ているが、葉が小さく表面が光っている。花の見ごろは6月。